

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

| 市町村名 | 課題の類型 1 | 課題の類型 2 | 背景・現状・課題の詳細 | これまでの取組状況 | 左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組 | 本事業で達成する目標 (アウトカム) | 目標の達成度を 測る指標 | 現 状 の 数 値 | 単 位 | 本 年 度 の 目 標 値 | 本 年 度 の 実 績 値 | アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等) | 目標等の公表先 |
|------------|------------|------------------|---|--|---|--|-----------------|-----------------------|--------|---------------------------------|---------------------------------|---|--|
| 063029 中山町 | ②学校と地域の課題 | 学校支援ボランティアの確保・育成 | 多様な体験活動等を実施するために広く地域人材を活用すること、子ども達が安心して過ごることができる居場所を確保することを課題にしている。 | 昨年度は推進員の追加配置を行ったことで、地域との連携がスムーズに行われ、地域ボランティアによる登下校に関する対応が全ての小学校で行われた。今年度は、地域ボランティアによる部活動の見守りにも注力し、教員の業務負担軽減を図った。 | 居場所の確保を目的に広く地域人材を活用するため、活動の周知募集等を継続していく。地域学校協働活動推進員2名を中心に月に2回程度、土曜日に放課後子ども教室を開催し、長期休暇中にも数回実施する。 | 多様な知識、スキル等を持った幅広い世代の地域人材が講師や地域ボランティアとして活動に参画することにより、休日に町内の子ども達が多様な活動を行うことができる機会が確保できる。さらに、地域の方にとっても、自らの学びを発揮できる場となり、新たな地域人材の参画につながる。 | 地域ボランティアの人数 | 50 | 人 | 60 | 90 | 09 本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した。 推進員の働きかけにより昨年よりも地域学校協働活動として地域が学校の授業に介入した件数が増え、目標値に達することができた。学校のニーズにあわせて地域人材との連携を密に行うことができた。次年度は推進員が学校に滞在する時間・場所を増やすことで先生方とのやりとりを増やしていく。 | https://www.town.nakayama.yamagata.jp/soshiki/kyoikuiinkai/shougai-gakushuu/2064.html (4月中に公表) |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。